

2014年7月のガス料金は

調整単価

$$\boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left(\boxed{\text{従量料金単価}} \right) + \boxed{+44 \text{ 円/m}^3}$$

標準料金

原料費調整にかかわる料金

になります。

なお、今月の調整単価は前月に対して

$$\boxed{+5 \text{ 円/m}^3}$$

となります。

	①プロパンCP ドル/トン	②為替レート	③原料価格 (①×②) 円/トン
2014年7月	835	103.05	86,047

【7月分の調整額の出し方】

$$\left(\boxed{\text{③原料価格}} \right) - \left(\boxed{\text{④基準原料価格}} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \boxed{\text{調整単価}}$$

(円/トン) - (2009年10月～2012年3月の原料価格の平均値) (64,628円/トン)

(1 m³あたりの調整額) (円/m³ 税抜)

トンをkgに直します。

Kgからm³に換算するための産気率

$$\left(\boxed{86,047\text{円/トン}} \right) - \left(\boxed{64,628\text{円/トン}} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \boxed{+44 \text{ 円/m}^3}$$

(小数点以下切り捨て)

【ガス料金の計算式】

$$\boxed{\text{ガス料金ご請求額}} = \boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left(\boxed{\text{従量料金単価}} \right) + \boxed{\text{調整単価}}$$

従来の標準料金

原料費調整にかかわる料金